

2022年9月

からし種

カトリック片瀬教会



Welcome Autumn

ブランチフィールド神父

今日は8月23日。先週までの猛暑と湿度が和らいで、窓から吹いてくる涼しい風は秋を気がつかせていることを知らせています。これからの教会の行事を見ますと、今月28日には3つの「コミュニティ」の集まりが予定されています。今までになかったコミュニティの集まりなので、まだ馴染んでいない方々のために一言説明をします。

教会の名簿上に沢山の人が載っているが、ほとんどお互いを知らない、関わっていないことが現状でしょう。2年以上続いたコロナによって、この状態は悪化しています。このまま続く限り、温かさのあるファミリー的な雰囲気は教会に生じないでしょう。ましては皆がお互いに手を組んで、力ある共同体にはなれません。

この状態に対してどうしようかと考え、地図を広げて同じ地域でお互いに近くに住んでいる人を一つの組にして、「コミュニティ」にしました。「コミュニティ」とは人の集まりですから、皆さんが相互いに声をかけたり、集まりの時に誘い合う事が大切です。

皆さんがお互いの名前と顔を覚えてから「コミュニティ」の意味、いいえ、命を感じられて教会は生きてくるでしょう。

呉々も皆さんが集まりのために連絡をする時、誰をも抜きにしないように気をつけましょう。日頃教会に通っていないと思う方にも「コミュニティ」の体験は神様との新しい関わりのきっかけとなります。



2022 年 8 月度 教会委員会報告

開催日時：2022 年 7 月 31 日(日) 午前 11 時 30 分～13 時 15 分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、典礼、総務、福祉、広報、財務、PTF 会、
マドンナ会、教会学校、中高大青会、一粒会、片瀬修道院

□ブランチ神父様挨拶

コロナが再拡大しています。警戒しながら今まで出来ていたことを失わないようにしましょう。それぞれのコミュニティが生きていくことが大切です。コロナの中で活動が難しいかも知れませんが頑張りましょう。

□日程

1. 7 月 31 日(日) 10 時ミサ後教会委員会
第 5 地区「祈りの部門」14：00 片瀬教会
2. 8 月 14 日(日) 10 時ミサで初聖体(1 名) 教会学校 1 学期終業
3. 8 月 15 日(月) 聖母の被昇天 ミサ 8：00 「平和の祭り」17：00
4. 9 月 4 日(日) 教会学校 2 学期始業
5. 9 月 29 日(木) 植栗神父様によるサダナの集まり 9：00～16：00
(9 月 11 日 ミサにおいて植栗神父様からサダナについてのお話し)

※ 8 月 23～25 日 横浜教区司祭大会(於：諏訪)は中止

□ 報告および連絡事項

1. 2022 年平和旬間 日本カトリック司教協議会会長談話を各委員に配布。
コピーを聖堂入口に置く。
2. 「新しい式次第～直前準備講座」9 月 24 日(土) 雪ノ下教会である。
参加希望者は個別に申し込むこと。詳細はポスター参照のこと。
3. 新しい「ミサ式文」の体験動画と解説動画の案内あり、DVD を申込む。
4. 共同宣教司牧サポートチームより「葬儀等(弔問から埋葬)への信徒の
関わり方」募集あり、典礼部の方で新規受講者が必要か検討し、必要
であれば申込む。
5. 夏の宿泊団体は、コロナ再拡大でキャンセルが相次ぎ、あんだんて
(8/1～3)の 1 団体のみ。
6. 7 月 19 日(火)タウン情報誌「散歩の達人」の取材を受けた。教会を
企画した 9 月号(8/20 発売)に掲載予定。
7. 信徒会館の雨漏り修理は川崎建設に見積依頼(約 160 万円)。もう 1 件
見積依頼中。
8. ミサ中、司祭の声が聞こえにくいとのことで、聖堂後方にもスピーカー

設置を企画する。費用は 25 万円程度。

9. 信徒会館照明。2 階については蛍光灯のストックあり。1 階については蛍光灯予備がなければ LED 化を検討する。
10. 司祭館ポーチ、再塗装、漆喰塗り直しが完了し、応接間窓枠再塗装開始。
11. 腐葉土づくりの枠が司祭館裏にできた(7/18)。
12. 草取りについては、ガーデニングクラブだけでは力不足で信徒全員で庭掃除を実施する日を設けることにした。

□ 検討・決定事項

1. 「平和の祭り」はコロナ感染拡大により、飲食を中止した内容とする。
ミサ後に、花火大会を実施。参加費は無料とする。申込をしなかった人でも参加 OK とする。変更した内容を早急に掲示する(実行委員会)
2. 「十字架の道行き」公開を秋に行う。紐の長さは、委員会後、藤本、池尾で決めた。画を壁にぴったりつけるのではなく、少し傾けた状態にする(光の反射具合のため)。
3. 委員会報告をタイムリーにからし種に掲載するため、委員会の開催を、毎月第 3 主日とする。8 月 21 日から実施。
第 3 主日は、福祉ミニミニバザーと重なるのでバザーをずらせないか検討する。(福祉)
4. 第 2 回コミュニティの集いは 8 月 28 日、9 月 4 日、11 日の 3 日に実施。
各コミュニティの日程割り振りは委員長が決めるが、各コミュニティ内の連絡はコミュニティ毎で行い、必要であればハガキ案内を発送する。
教会に来ていない人に声をかけることが重要である。
5. 平日のミサについて司祭から提案あり、どうするか司祭が検討する。
6. 親松英治氏支援募金は、7 月 31 日迄に 117,300 円集まった。これを一旦送金するが、8 月以降も募金を継続する。8 月末時点での状況によりその後どうするか判断する。
7. 今年の敬老のお祝い(9 月 18 日)はコロナ感染状況からお祝いは実施せず、お祝いカードのみとする。
8. ホームページ管理料(ドメイン使用料)は、相澤さんが立替で払っていた。
一度清算するが、エビデンスについては相澤さんと財務で話し合って確認する。

次回委員会開催 8 月 21 日

2022 年 9 月度 教会委員会報告

開催日時：2022 年 8 月 21 日(日)午前 11 時 30 分～12 時 30 分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、典礼、総務、宣教司牧、広報、財務、
監査、マドンナ会、教会学校、中高大青会、一粒会、片瀬修道院

□ブランチ神父様挨拶

教会のことをやってくれている人は荷が重いのではないのでしょうか。まずは感謝したいです。私の台所もみてくれています。毎回委員会に興味ある人は出ていらっしゃいということになっていますので、声をかけたらいい、誘ってみてください。そしたら委員会への理解が深まるのではないのでしょうか。そして手伝ってくれる人たちを増やしましょう。新しい人も来ているので声を掛けたら良いでしょう。善意を活かしましょう。コミュニティは何とか心が生きてくるよう、新しい体験になるかも知れません。求めているものを見つけるかもしれませんので頑張ってください。

□日程

1. 8 月 28 日、9 月 4, 11 日 第 2 回コミュニティの集い
2. 8 月 28 日(日) 第 5 地区「伝え部門」 15:00 大船教会
3. 9 月 4 日(日) 教会学校 2 学期始まり 10 時ミサ後 宣教司牧部と司祭とでペットの祝福についての打ち合わせ
4. 9 月 11 日(日) ミサにおいて植栗神父様のサダナについてのお話し
敬老のお祝いの一環でこの日から当分の間、ミサの中で 78 歳以上対象に「病者の秘跡」を行う。
5. 9 月 25 日(日) 第 5 地区教会委員長会議 14:00 共同宣教司牧
委員会 15:00 大船教会 ペットの祝福 16:00

□ 報告および連絡事項

1. 8 月 15 日聖母の被昇天
 - 1) 8 時ミサは約 30 名参列
 - 2) 17 時 野外ミサ約 50 名参列。ミサ後。マイケルさんが飛び入りでウクレレの演奏。その後、花火大会。
 - 3) 野外ミサの会場設営・撤収について、祭壇はテーブルを使用、椅子は信徒会館の椅子を使用、カートごと運ぶ。片付けは参列者も手伝ってくれてスムーズに行う。全体的に簡潔にできた。
2. 「祈りの手帖」100 冊購入し、聖堂ベンチに置く。個人的に購入している人も多いが、ミサに持ってない人、新しい人やよそから来た人等もミサに与りやすいようにする。手帖には教会印を押印して管理する。
3. 信徒会館雨漏り修理は、相見積もりを依頼しているが、業者が盆休みでまだ実地調査をしていない。近々実施する予定。
4. 8 月 2 日早朝、聖堂裏の水道管(香部屋へ入っている管)が破裂。朝応急

修理をし、午後関根工務所が修理。

8月20日、男子トイレの水洗止まらず、原因は水洗装置の電池切れ。教会設備の老朽化に伴い、今後も故障、破損等が起こりうるので、気になる所から点検をする。特にインフラ関係は気を付ける。

5. 8月14日(日)に初聖体の子が一人いたが、皆で支えていたので教会が楽しくなっているとのこと。

□ 検討・決定事項

1. カリス火災共済制度更新

内容は別紙にて説明。今年9月20日からの3年間の契約更新を行うことを了承。保険料は、教会の口座から引き落とせるよう手続きをする。(今までは振込に行っていたが、振込期限を過ぎてしまったりすることが発生したため)

2. 今年のバザーはコロナ禍が鎮静しないので中止することを決定。但し、従来の形にとらわれることなく、ミニバザーやフリーマーケットのような形も考えられる。また、信徒の交流という点からは、バザーにこだわらず、他のイベントを企画してもよい。コミュニティの集いでも機会あれば何かできないか話し合ってもらおう。
3. 防火設備点検は、昨年7月の教会委員会で毎年実施するとなっていたが今年は未実施。業者に点検を依頼する。
4. 親松英治氏支援募金は、8月末で一旦終了。
5. 司祭館裏の物置は扉や床が破損しているので買い替えを検討する。価格調査要。
6. 敷地内の草取りの為、電動草刈り機を購入する。(2万円前後) また、定期的に草取りをするよう検討する。

次回委員会開催 9月18日

今年のバザーは中止しますが…

教会委員長 池尾昇治

8月21日の教会委員会で、コロナ禍鎮静の兆しがないため今年のバザーは中止しようということになりました。ただ、委員会で話し合っているうちに、既成のバザーはできないけれど、形を変える等すれば何かできるのではないかとという考えが皆の中にでてきました。例えば、雑貨を売るのであれば、ミニバザーやフリーマーケットみたいにしてもいいじゃないかと、信徒の親睦を図るという視点から見れば色々なイベントも考えられるよね。コミュニティで企画してもいいかも知れません。「今度の日曜日、〇〇のコミュニティがフリーマーケットを開きます!」というようなお知らせが出てきたら楽しいかも知れません。

コロナ禍を転機と捉えて今までとは違ったスタイルの教会活動が生まれてきてもいいのではないのでしょうか。

おめでとう！！ 初聖体



8月14日、主日のミサの中で、ベルナデッタ C.K. さんが初聖体のお恵みを受けました。

ミサの終わりには信徒の前で紹介され、神父様より共同体の仲間入りとしての言葉かけがあり、皆さんから拍手で祝福されました。

その後、ミサに出席している子どもたちより、手拍子と共にかわいらしい声を揃えた歌声で見送られ、喜びに満ちあふれた初聖体のミサとなりました。



聖マリアの誕生

7月号で7月26日の「聖マリアの両親、聖ヨアキムと聖アンナ」の記念日をご紹介しましたが、9月8日は「聖マリアの誕生」の祝日です。これは誕生日ではありません。歴史では、聖母マリアを祝った最初の祝日は、「聖母の被昇天」（8月15日）でしたが、まもなく、東ヨーロッパの教会で聖マリアの誕生も祝われるようになり、そこから全教会に広がっていきました。

始まりは、5世紀に建てられたエルサレムの聖マリアの誕生の大聖堂でこの祝日が祝われたそうです。

聖母マリアの誕生については、聖ヨアキムと聖アンナ同様、聖書には何も書かれていません。「ヤコブの原始福音書」に両親と共に書かれています。

とにかく、聖母マリアの誕生により長い間準備されてきた救いの約束が、その実現に近づきます。言い換えると、教会の祈りの中で言われているように、聖母マリアの誕生は、正義の太陽、キリストの曙です。

私たち日本語ではマリアと言いますが、ヘブライ語ではミリアムまたはマリアンという発音をしていて、これは「高貴で優れた者」という意味だそうです。

平和の祭り

教会委員長 池尾昇治

8月15日(月)午後5時から「平和の祭り」を開催しました。

まず聖堂前の聖母子像前で野外ミサ。天気も良く心地よい夕方の風に吹かれながら「聖母の被昇天」のミサを捧げ、日本カトリック平和旬間最終日であると共に太平洋戦争終戦記念日でもあるこの日、聖母に世界平和を祈りました。50人ほどの信徒が参列、聖歌隊も聖体拝領でC. FrankのAve Mariaを捧げることができました。

事前の会場設営については、祭壇はテーブルを使用し、信徒会館の椅子をカートごと運んで並べ、聖歌集を椅子の上に置くようにしてコンパクトにしました。ミサ後の後片付けも参列者が協力してスムーズに短時間で終わりました。

ミサ後、飛び入りで鶴沼のマイケルさんがウクレレと歌の演奏してくれて、皆も手拍子を打ったり、一緒に歌ったりして楽しみました。マイケルさんは、ウクレレのスペシャリストでいつも背中にウクレレを背負っていますのですぐ分かります。隔週で10時のミサ後、ウクレレ教室を始めています。どなたでも参加できますので、興味ある方は参加下さい。

その後、庭の中央で子ども達を中心にして花火を楽しみました。初めは「まだ明るいのにやるの?」と言っていた子ども達もすぐ夢中になり、花火を束にして火をつける子や、振り回す子、お母さんに火を向けて、お母さんが「やめて! やめて!」と叫んでいた子、シスターも加わったりして楽しく盛り上がりました。花火が終わっても子ども達は暗い中鬼ごっこをはじめ、神父様が聖堂の鍵をかける時、「中に誰もいない?」と声をかけるほど。7時過ぎに教会の門を閉めるよと言って解散しました。今年はミサ後、信徒の懇親会ができと思っていたのですがお預けになってしまいました。来年は実施できるよう祈りましょう。

マリア様と共に祈る夏

ルキア C.H.

去る8月15日、聖母の被昇天のミサと平和の祭りが執り行われました。私にとっては教会に通い洗礼を受け、はじめてのマリアさまの日でした。

今年は異例の酷暑、いまだ収束のみえないコロナ禍に加え、報道で連日伝えられている戦争の様子など心を痛める事柄が多くありました。しかし教会というコミュニティに集い、日々与えられている糧への感謝や戦没者への追悼、世界に平和が来ますようにという祈りをできたことは、お恵みであったと感じます。

17 時からのミサは野外の幼きイエスさまを抱くマリアさまの像前で挙げられました。日中はへたり込むような暑さでしたが、ミサが始まり神父さまが話し始めると、タイミングを合わせたように快い風が吹き、穏やかに進行していきました。

参加された方には親子の姿も多く、優しいマリアさまのお姿と重なってみえました。ミサの後には、マイケルさんの小さなウクレレ演奏会や花火大会と世代をこえた笑みの場となりました。

来年は今年より平和が近づくように、コロナ禍が収束し食事会も再開できるようにと心から願っています。



聖堂前の聖母子像前で野外ミサ



花火大会

長谷川路可掛軸と十字架の道行修復報告

藤本幸充

今年の7月十字架の道行14面の修復が完了しました。

これで2月納品の「エジプト遊行」、4月の「聖家族」に続き当初予定の全ての原画、および表装の修復が完了いたしました。

10年ほど前、教会の萩原さんや帰天された山本明子さんが、当時東京国立博物館の保存修復課長でありカトリック成田教会所属の神庭信幸様に修復について相談に行かれ、又2年前、「聖家族」の掛け軸が突然落下、気づかれた奥田さんが片瀬の表具店に相談なさる、など対応を迫られていました。そのような時修復担当を拝命しました。

(私事で恐縮なのですが、カトリック府中墓地にある長谷川路可の墓、その「お向かい」が我が家の墓、拝命した際、何か「近所のよしみでやってよ！」と路加さんから、お呼びがかかった様な心持ちでした。)

何しろ80年間、掛けたままの状態でしたので、修理の正確な鑑定が必要になり、2020年12月神庭様ご夫妻、神庭様から紹介いただいた修理技術者の紙守財団、教会から5名が立ち合い現地調査を行いました。

その結果、本絹(絵が描かれている絹)の状態は掛け軸3点とも安定した状態でしたが表装部は傷みや汚れが各所に見られる、十字架の道行については本絹の劣化が進み、黄変(日焼け)し、今後も新たな断裂が想定される状況でした(実際十字架を担ぐキリストのシーンには下部が横一文字に破れているものもありました)。

昨年6月梅村司教様がいらした際、修復に知悉していらっしゃる甲府教会のシスター志村の紹介を受けアドバイスいただく、また地元の表具師の見積りも含め教会委員会で度々検討を行い、神庭様から紹介いただいた「一般財団法人 世界紙文化遺産支援財団 紙守」に正式に修復作業を依頼しました。

神庭様は「エジプト遊行」「聖家族」「十字架の道行」14面について修復状況の検分も行なっていただくなど、絶えず教会の立場で支援いただきました。

当初、掛け軸は80年掛け放しにしては保存状況は良い、との鑑定でしたが、実際、原画の絹地、裏打ち地、絵周囲の帯状の縁取り、周囲の表装部など細かく分解してゆくとあちこちに傷みがあることがわかりました。

修復報告書をご覧いただきたいと思います。

また神庭様からもアドバイスいただき収納時、掛け軸を巻き取りやすい桐の太巻きケースを、十字架の道行にはアクリル低反射ガラスを新たに採用しています。

一方今後の掛軸他の維持管理をどうするかという事です。神庭様によれば、掛け軸は2ヶ月掛けたら2ヶ月休ませるのが理想との事。

お気づきになったかもしれませんが、上記に「ルルドの聖母マリア」(桐箱に補完されたままの状態でした)を加えた三幅の掛け軸でローテーションを組み、すで

に掛け替えています。が、いずれ劣化します。掛け軸だけでも修復後新しいうちに複製が望まれます。

ところで十字架の道行 14 面ですが、現在聖堂に展示されているのは以前のままの複製画です。修復後の絵全体を見たのは納品確認に立ち会った3名のみで、教会委員もブランチ神父様も一部しかご覧になっていません。

そこで、今後十字架の道行 14 面を一斉に交換する共同作業を行いたいと思います。額は側廊の高いところにあり、今の角度では窓の反射で肝心の絵がよく見えません。一枚一枚角度の調整や額裏のヒモを掛けるフックの位置変更も必要になってきます。

絵と触れ合う良い機会にもなると思います。その際は事前に案内します。皆さまの参加を期待して。

※ 修復の工程について、詳しくは修復報告書をご覧ください。

(聖堂入口のホール、道路側メールボックス上に設置)

堆肥作りをしました ～ガーデニングサークルより～

猛暑日の7月18日、司祭館の裏庭で、堆肥作りに乗り出した4人の勇姿がありました。囲いの柵にする資材の調達から始まり、知恵と工夫で地面の傾斜を利用して下の隙間から水が流れるようにし、落ち葉を敷き詰め、米ぬかを撒いて堆肥ボックスの完成です。なんと、溜まっていた落ち葉の大量の袋の山が全てボックスの中に入ってしまった。

これからは枯れ葉の処理の手間が省けて、しかも良い土壌となり益々花壇が輝くことでしょう。



第2回コミュニティの集い

信徒の交流を目的としたコミュニティの集いは、5月の初回時では地区ごとで情報交換ができ、出席者が知り合って新しい交わりを作ることができました。

「今教会に来ていない方々も含め、全ての信徒に声かけを」との神父様の意向を受け、各コミュニティのリーダーより連絡を致しました。

日程は次のようになります。いずれも10時のミサ後に開始します。

8月28日(日)	片瀬海岸・江の島 鵠沼A(鵠沼海岸・本鵠沼) 鎌倉北東部(腰越A. B以外の鎌倉、横浜、逗子)
9月4日(日)	片瀬・目白山 藤沢北部
9月11日(日)	腰越A(腰越・津西) 腰越B(腰越・津・西鎌倉) 鵠沼B(A以外の鵠沼全域)

*辻堂・茅ヶ崎・平塚コミュニティの集いは別の日程で開催します

† 9月の典礼 †

3日(土)	聖グレゴリオ1世 教皇教会博士	18日(日)	年間第25主日
4日(日)	年間第23主日	20日(火)	聖アンデレ金と同志殉教者
8日(木)	聖マリアの誕生	21日(水)	聖マタイ使徒福音記者
10日(土)	日本205福者殉教者	23日(金)	聖ピオ(ピエトレルチーナ) 司祭
11日(日)	年間第24主日	25日(日)	年間第26主日
13日(火)	聖ヨハネ・クリゾストモ司 教教会博士	27日(火)	聖ビンセンチオ・ア・パウ ロ司祭
14日(水)	十字架称賛	28日(水)	聖トマス西と15殉教者
15日(木)	悲しみの聖母	29日(木)	聖ミカエル 聖ガブリエル 聖ラファエル 大天使
16日(金)	聖コルネリオ教皇 聖チブリアノ司教殉教者	30日(金)	聖ヒエロニモ司祭教会博士

◇4日(日) 教会学校始業

◇11日(日) ミサにおいて植栗神父様によるサダナについてのお話し

◇18日(日) 9月度教会委員会

◇29日(木) 植栗神父様によるサダナの集まり 9:00~16:00

◆ お知らせ ◆

◇16 年間(2002 年～2018 年)片瀬教会の主任司祭を務められたマリオ・バラロ神父様が、8 月 8 日にイタリアに帰国されました。

無事に到着され、とてもお元気なご様子です。故郷で穏やかな余生を過ごされますことをお祈り致します。



◇親松英治氏の聖マリア観音像の移送等のための募金は、皆様のご協力のお陰で 7 月末までに 117,300 円になりました。一般社団法人 南島原世界遺産市民の会に振り込みます。8 月末で募金を一旦終了致します。

◇山口道孝神父様の活動のための物資(米・小麦粉・パスタ・トイレットペーパー・調味料)を毎月集めています。信徒会館内に箱がありますので是非ご協力をお願いします。

◇信徒会館の清掃をしてくださる方は聖堂入り口の当番表にご記入ください。

◇耳で聞く「からし種」

聖堂入り口に置いてありますのでご自由にお持ち帰りください。

◇ご高齢でミサに出られずご聖体を頂きたい方はご遠慮なく申し出てください。聖体奉仕者も含めて対応します。

◇毎月第 1 主日に行われていた教会委員会の開催日を、からし種の発行に合わせ、タイムリーに教会の情報をお届けする為、毎月第 3 主日の 10 時ミサ後に変更しました。当紙面には 8 月度と 9 月度教会委員会報告を掲載しました。

2022 年 9 月号

発行 カトリック片瀬教会

〒251-0035

藤沢市片瀬海岸 2-2-35

TEL. 0466-22-4646 FAX. 0466-25-7909

<https://www.catholickatasechurch.com>